

高瀬蔵一周年記念イベント開催のお知らせ

〜ドラマチックに〜 【蔵・まちック】

蔵開きから1周年を記念して、蔵と高瀬のまちが一体となりドラマチックな記念イベントが開催されます。皆様お誘い合わせの上、お越し下さい。

★一周年記念講演★

平成18年4月28日(金) 19:00より(入場無料)

高瀬夜噺『航米記』〜幕末、玉名はすごいサムライを世に送り出していた〜

今から、140年以上前の万延元年(1860年)に幕府の遣米使節団の一員として世界一周した高瀬出身の肥後藩士・木村鉄太・敬直(きむらてつた・よしなお)の9ヶ月に渡る壮大な軌跡をたどる。

講師：高野和人 氏

★一周年記念イベント★

平成18年4月29日(土) 10:00より

高瀬ほりだし写真展

一周年記念セレモニー

高瀬の町家探索・和ろうそく作り体験

餅つき・餅なげ 音楽コンサート 舞踊

たのしいイベントが盛りだくさん!

耳よりカード
4月1日よりスタート

■高瀬の町のお得な情報を載せたカードができました。カードは、高瀬蔵においてあります。ご自由にお取りいただいでお得な買い物をどうぞ!



NPO 法人 高瀬蔵

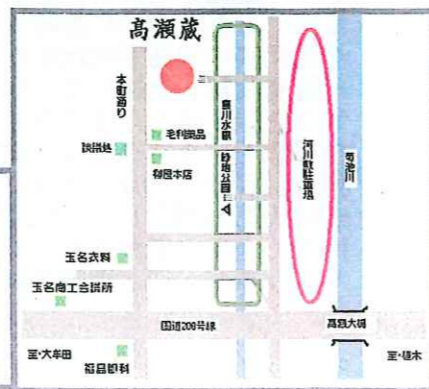
熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)

TEL・FAX 0968-72-2480

E-MAIL takasegura@cup.ocn.ne.jp

URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>

開館時間 10:00~24:00(イベント開始時間により変更あり)



◆◆ おかげさまで一周年 ◆◆

〜新春 箏コンサート in 高瀬蔵〜

古典の曲、現代の曲、童謡の演奏

1月22日(日)熊本お琴教室玉名研究所・雅(みやび)会のご協力により、新春箏コンサートが開催されました。箏、三弦、尺八という三つの和楽器の調べが、蔵の趣きとよくマッチした、何とも言えない味わいある雰囲気の中でコンサートを開催しました。プログラムは、古典の曲、没50年を迎える宮城道雄の名曲(春の海・瀬音)、現代の曲、童謡と、皆さん楽しんでいただけるようにと選曲いたしました。おかげさまで、客席も満席となり、主催者としても本当にうれしく、満足のいく音楽会でした。(音楽部会)



片山理事長も特別ゲストとして参加し、演奏会を盛り上げた。



レコードコンサート&午後のティータイム

3月12日(日)、元気だった昭和のアナログ時代を懐かしむ世代にお答えすべくビートルズや懐かしい映画音楽を中心に、午後のティータイムとのジョイントコンサートが開催されました。コンセプトは「午後のひと時、お茶しながら懐かしいアナログの音をお楽しみください。」と、お客様の層も年配の方が多く見られ、次回からの選曲も幅広い皆さん楽しんで頂ける曲を用意することとしました。雨の降る寒い中においていただき感謝いたします。(音楽部会)



参加したお客様からは、「青春時代を思い出しました」、「映画音楽と映像とがマッチしてよかった」との声も!



高瀬ひな祭り展

(商店会イベント部会)

2月20日(金)～3月1日(日)まで小蔵がいて、ひな人形の展示をしました。約10名の皆様からお借りした品々はどれも古き良き時代を思い起こさせるものばかりで、来館の方々も熱心に鑑賞されておられました。次回に向けては高瀬こしかめ、ひな祭り展を目指して、関連事業や関連グッズ等も考えていきたいと思っております。



【はげの実でろうそくを】

2月4日(日)、17年度3回目となる和ろうそく作りが行われました。当日は天気にも恵まれ、蔵のホームページでろうそくづくりを知ったと、大分県の豊後高田市の市民団体の方も参加されました。豊後高田にもはげ並木があるとの事で熱心にろうそくづくりを他の参加者と一緒にご体験されてました。蔵でイベントを通じて他市の方と交流できた、とても意味のある一日となりました。



【郷土の味を楽しむ】

1月14日(土)、冬の郷土料理を味わう、3月11日(土)初春の郷土料理を味わうが当会員大林さんと高瀬のご婦人方の協力により催されました。

1月14日(土)は、かに飯、雑煮、黒豆を中心に6品。3月11日(土)は、赤飯、鯛の酢づけ、しらあえ物を中心に6品が、ところ狭しとテーブルに並べられ、各回とも参加者は、心を込めて作られた郷土の味に会話をはずませながら、箸を進めていました。参加された方からは「郷土の味を再認識しました。」「一つ一つ手づくりの温かみ味を楽しみました。」等の感想をいただき、両日とも蔵の中は、美味しい匂いに包まれた、温かみ空間となりました。

【おいしいお茶の入れ方】

去る、3月25日(土)今回で5回目となるお茶の正しい入れ方教室が物屋茶舗・猿渡さんと日本茶インストラクター協会熊本支部のご協力により開催されました。講座の参加者は11名、テーマは身体が綺麗になるお茶を飲もうと言う事で、お茶の歴史から種類お茶の効能また、普段飲んでいるお茶でも入れ方を少し変えるだけでおいしくなる事をテキストと実技を交えて分かりやすく講義いただきました。

高瀬マイスター倶楽部

【プロの技を体験】

3月19日(日)菊水堂の山崎講師による、初春のお菓子づくり教室が実施された。今回のメニューは黒糖饅頭、桜の開花を目前に控え、お茶のお供にピッタリのメニューとなった。レシピによる説明と山崎さんの実演及び、体験を通して饅頭作りのコツと楽しさを参加者は学びました。

そして、自分達で作った饅頭に早速舌鼓をうち、出来栄を確認していました。参加者からは「饅頭を作るコツをお聞きする事が出来、とても勉強になりました。」「今日の事を参考に、家で黒糖饅頭を作ってみたいと思います。」などの感想が出て、蔵の中は賑わいをみせていました。

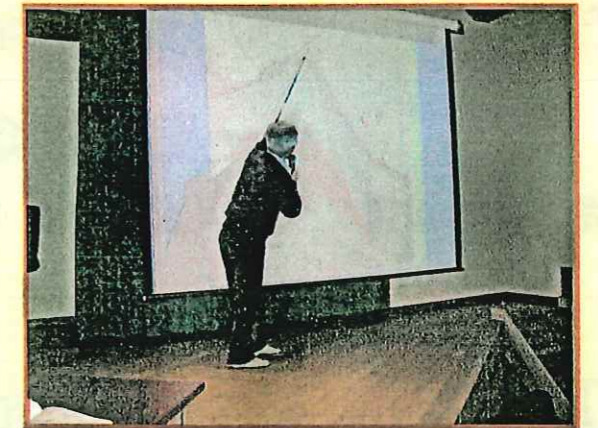


高瀬夜噺

「高瀬夜噺」もいよいよ佳境に。第8夜(12月16日)は秋元一秀氏の「町家の暮らし」～高瀬の町をかたちづくる町家、その暮らしは。近世高瀬の特徴は、米の積み出し港であった事から城下町の縮小版みたくな特徴がある。また、高瀬の町家の平面構成は間口が狭く、奥行きが長い、ウナギの寝床の形状が多い事の説明があった。そして、第9夜は年が明けて(1月27日)森 高瀬氏の「玉名郡代 中村庄右衛門の日記 怨斎日録」～文久2年の玉名の大水害のよう～大水害と戦う先人たちの知恵と勇気。またそれを統率する中村玉名郡代の様子を文献や資料に基づき説明された。今の様に文明が栄えていなかった時代での事なので、驚きとともに勇気ももらった。第10夜(2月24日)は前回シリーズの第2弾として小林久馬氏の「玉名郡代 中村庄右衛門の日記 怨斎日録」～藩主慶順、尾田の丸池に御漁おでまし～藩主が釣りに行かれたときの藩主と地元民のふれあいの様子が説明された。そして、平成17年度を締めくくる第11夜(3月24日)は高木久美子氏の「玉名でのキリスト教の伝来」～宣教師の命がけの布教活動～キリスト教の布教活動は九州では長崎が有名だが玉名にも数多くの宣教師が訪れ、時代が時代だけに命がけで布教活動がなされた事が説明された。今の自由社会からは創造を絶する活動であった事が理解できた。参加者からは、「非常に勉強になった、今後の生活に役に立ちそうだ。」との感想が出ました。18年度(本年)も高瀬夜噺は続けて行きますので、是非高瀬蔵に足を運んでみてください。



第8夜「町家の暮らし」秋元一秀氏



第9夜「玉名郡代 中村庄右衛門の日記」

(文化部会)

森 高瀬氏

玉名商人塾

玉名 TMO(玉名商工会議所)との共催で先進地のリーダーを招き、地域活性化を考える「玉名商人塾」が3回に渡り開催されました。第1回目は、1月25日に日田観光協会会長の石丸邦夫氏をお迎えし、「まちに夢を、地域に未来を」と題し、豆田地区の町おこしの仕掛人として、凝縮した説得力のあるお話が聞けました。第2回目は、2月25日に長崎大学の4回生であり、まちづくり屋代表の川島幸成氏をお迎えし、「NAGASAKI ネクタイ開発物語」と題して、学生グループで長崎名物のカステラを織り込んだネクタイの商品開発が、若い方の斬新な発想で、まちづくりに結びつく興味深いお話でした。第3回目は、3月18日に山鹿市下町惣門会会長の井口圭祐氏をお迎えし、「なにげない物でも宝物!」と、町にはたくさんの宝があり、それを発見しアピールして知って貰う事が大切と講演されました。

実践者の凄さを実感!



第3回「歴史の宝物探しと米米惣門ツアー」

井口 圭祐氏

(まちづくり推進部会)